

# 第18回Wリーグ

## プレーオフ・ファイナル 第1戦

### 会見要旨



#### JX-ENEOSサンフラワーズ(1勝0敗)

##### ■トム・ホーバス ヘッドコーチ

今日の試合は、出だしが全員緊張しており、重いバスケットをやっていた。ディフェンスは悪くなかったがオフェンスはタイミングとリズムがあまり作れなかった。トヨタ自動車はレギュラーシーズンからターンオーバーが少ないチームだから、ターンオーバーからのブレイクがなかなか出せなかった。前半はあまりファーストブレイクが出来なかったが、後半ではディフェンスもアジャストでき、オフェンスも落ち着いて良いリズムを作ることができた。4Qで相手がシュートを落とすところからファーストブレイクが出せて良くなったと思う。後半はJX-ENEOSの良いバスケットが出来た。

##### ■#0 吉田 亜沙美 選手

前半はとても重いゲームだったが、その中でもディフェンスを我慢して7点差まで持っていったことが、今日の勝因だったと思う。後半に選手が自分たちのバスケットをしようと気持ちを入れなおしたことがこのような結果に繋がった。第2戦では前半から今日の後半のようなJX-ENEOSらしいバスケットをすることで、見ている方々にバスケットの楽しさを感じて貰えるような試合にしたい。

##### ■#21 間宮 佑圭 選手

今日は前半がすごく重いバスケットになってしまったが、後半に外角のシュートが決まりオフェンスの動きもスムーズになったことで、自分たちのバスケットが少しずつ出来てきた。第2戦では相手がアジャストしてくると思うが、そうしたことは関係なく自分たちのバスケットが、自然と出てきたら勝利が見えてくると思う。

# 第18回Wリーグ

## プレーオフ・ファイナル 第1戦

### 会見要旨



トヨタ自動車アンテロース(0勝1敗)

#### ■ドナルド・ベック ヘッドコーチ

JX-ENEOS は自分の長いコーチ経験においても対戦相手としては1番のチームである。そのようなチームに勝つためには、トヨタ自動車としても完璧なチームに仕上げなければならない。JX-ENEOS に勝つためには、まずはシュートの確率を高めること、リバウンドをしっかり取ることが大切である。シュートは選手一人ひとりが自信を持って打って行って欲しい。金曜日はハードに行く。熊本に行って良い試合をしたい。

#### ■#1 大神 雄子 選手

JX-ENEOS はすべてにおいて完璧でないと戦えない相手である。

これで終わりではないで次の試合にしっかり準備をして臨みたい。

今日の試合を振り返って、前半は JX-ENEOS に対してセミファイナル以降に準備してきたことがある程度出来た。決して特別なことではないがトヨタ自動車としてのシステムを40分間通してやり続けなければいけない。40分を通してグレートでなければ、グレートなチームに太刀打ちはできない。

今日の手応えとしては「トヨタやれるんじゃないか。」と自分たちが思えた試合だった。

個人としては、ファイナルという舞台で、現在、トヨタ自動車の選手として、かつて所属していたチーム(JX-ENEOS)と対戦できることはとても嬉しく思う。